

倉橋杏奈は
オタクサークルの
メンバーである

小説家志望であるが、
実は設定くらいしか
書いたことはない

ふいふい!!

カク
カク

カク

数日後

できたわ!

わし、
ありがとう
どれどれ…

パン!!

▽事業部
表向きは営業活動を行っているが
裏の顔は秘密結社

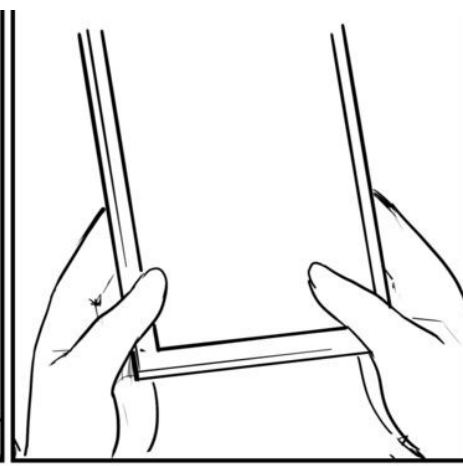
+ 吉成健康 リーダー、ひげ
名前の通りの健康的で明るい性

秘密・結社?

…ほ、ほら
そのほうが
ワクワク
しない?

私、普通の…会社
って言ったけど…



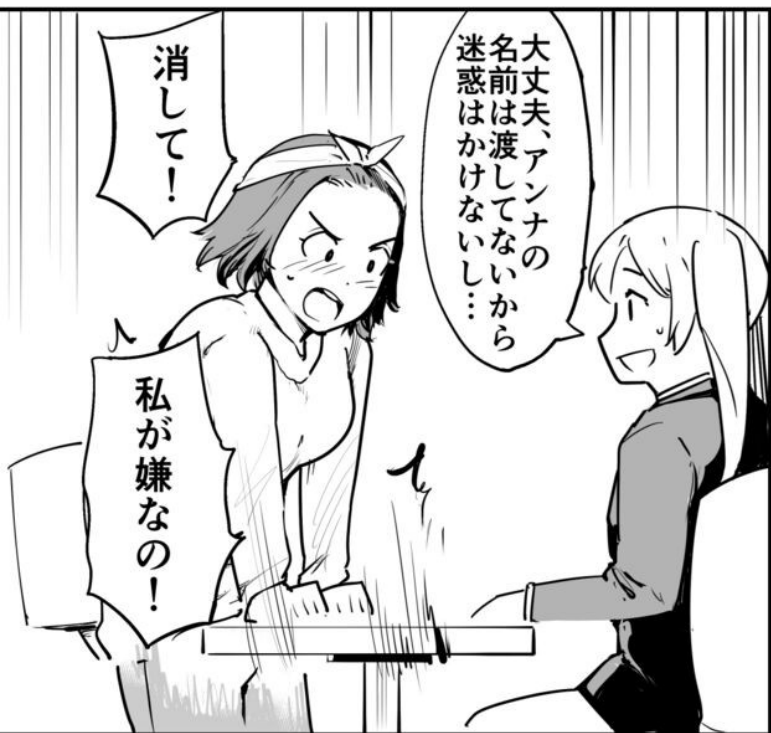


一か月後

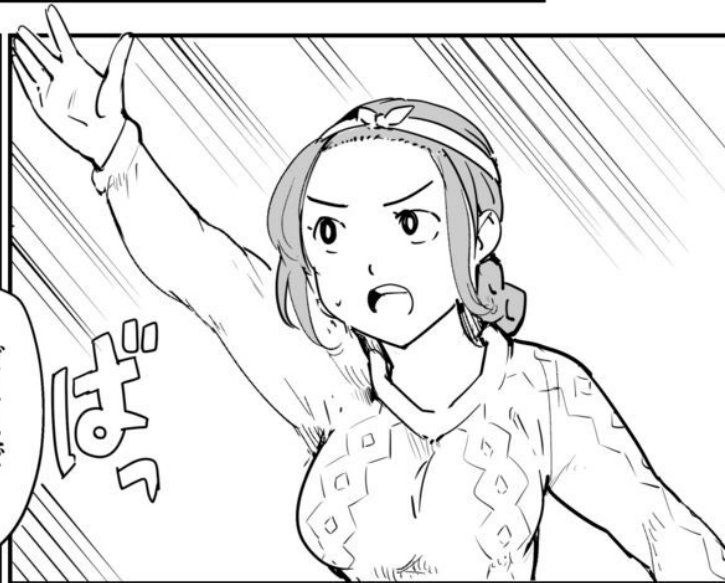
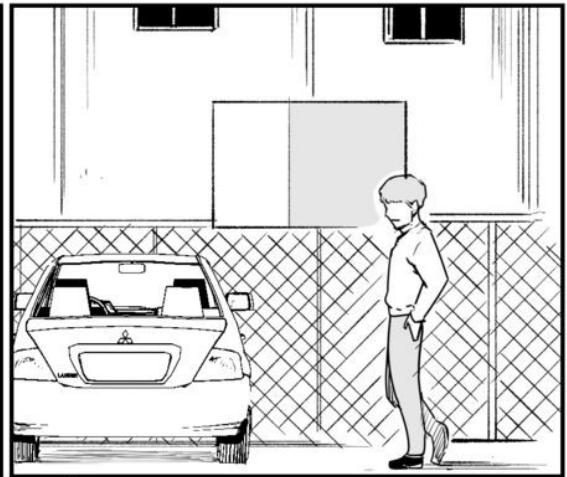


吉成健康です！よくなりましたと読みます！
XX大学で博士やっています！！
健康博士のおかげです
シミの合いびきを人仲良くいぬ！
@吉成 ∞ XX.com/XX 2022年1月がさ XX









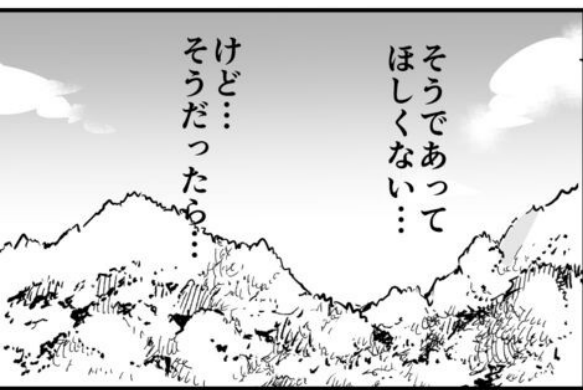


私の想像が
正しければ…
吉成博士は
あの場所に向かう…

ゴーン!!!



本当に…
そんなことが
現実に起こり
えるの…？



そうであって
ほしくない…

けど…
そうだったら…



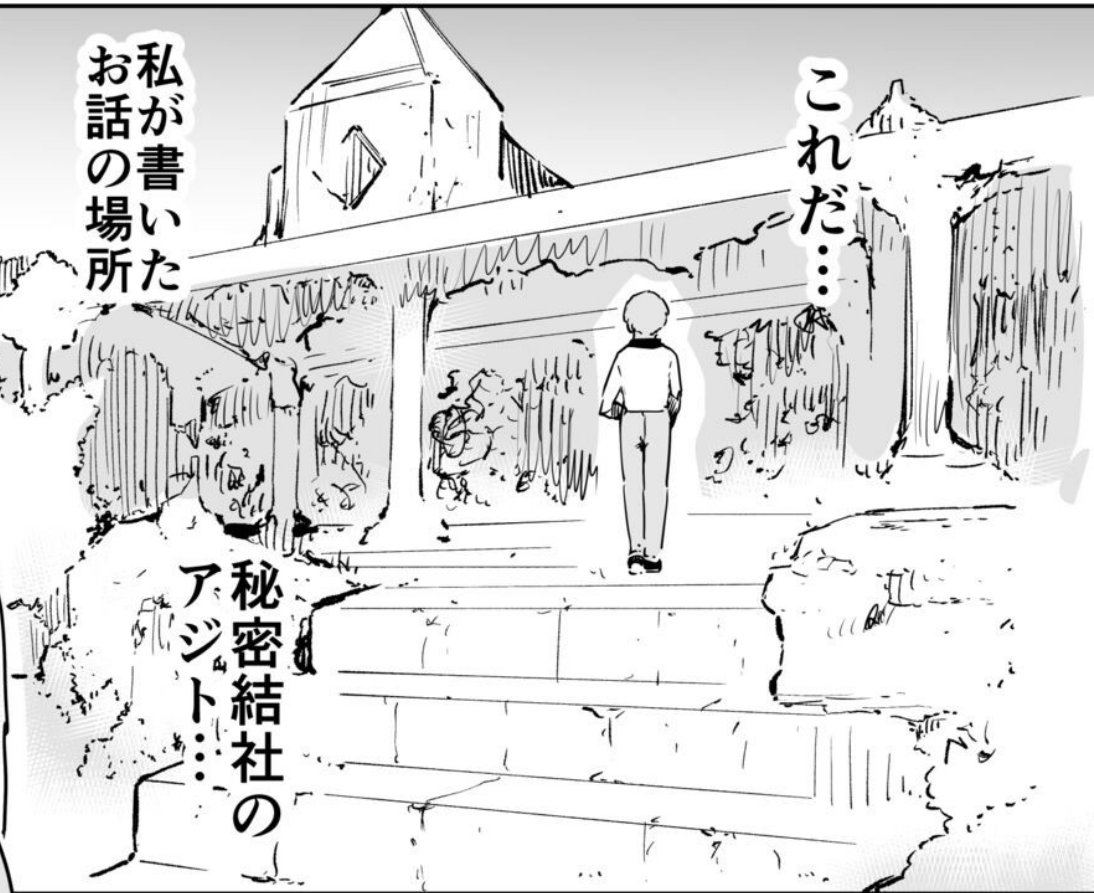
私がシナリオに
書いたとおりの場所…



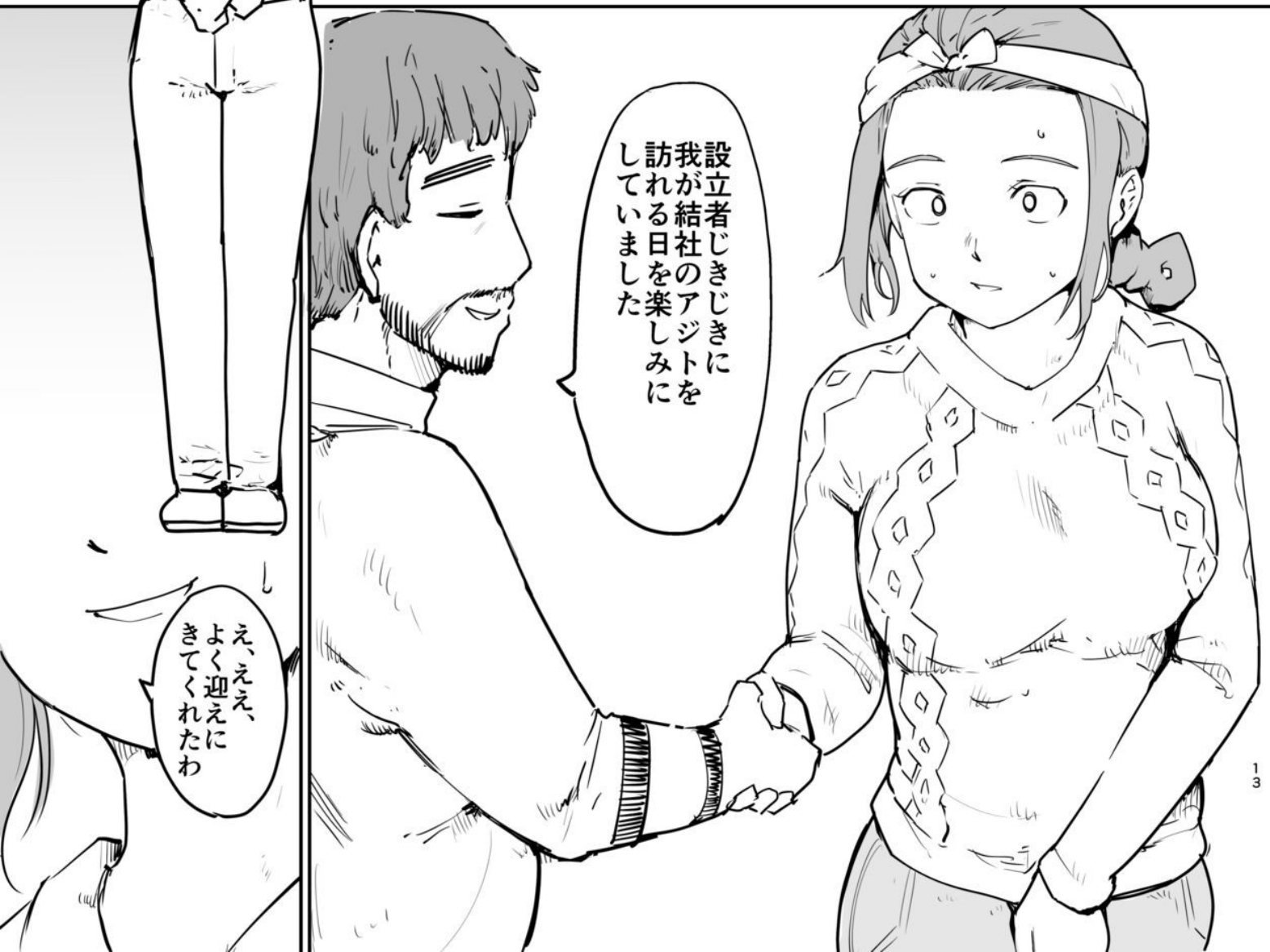
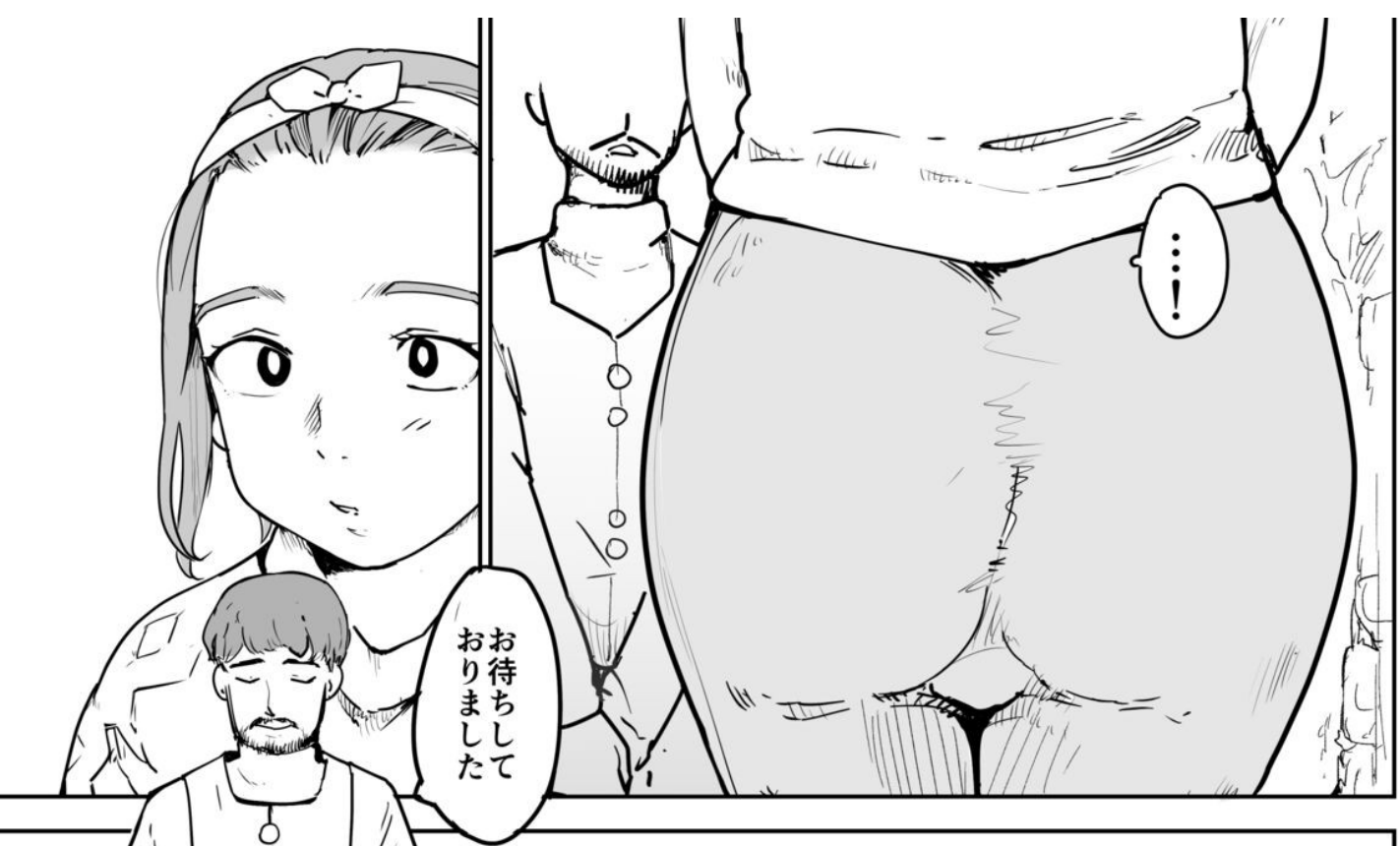
私が書いた
お話の場所

秘密結社の
アジト……

これだ……



……



ところで…今教団は
ネット工作活動を
しているようだけど
アレは…？

順調に
活動しています

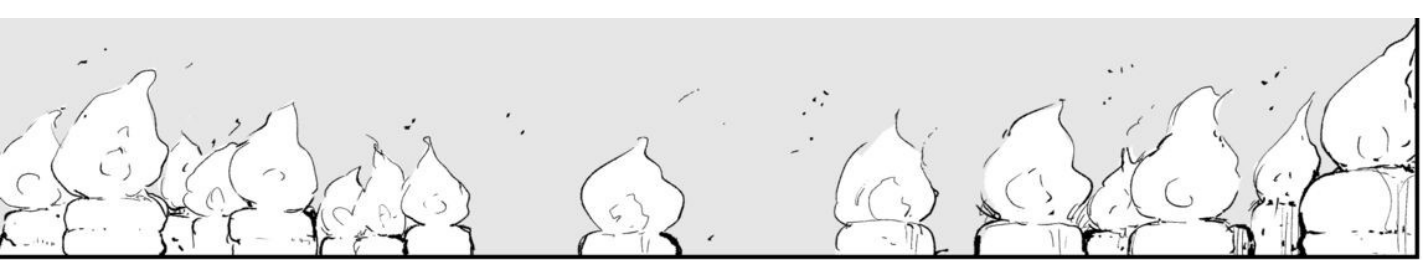
そうじゃなくて
いったい誰の指示？

我々で決めました、
教団の思想で
世間を染めるために

そう…でも
もっと良い
やり方を
選んで頂戴

承知
しました

うう、なんか
偉くなった気分…



本日の位階「クラス」の
テーマは『性愛』

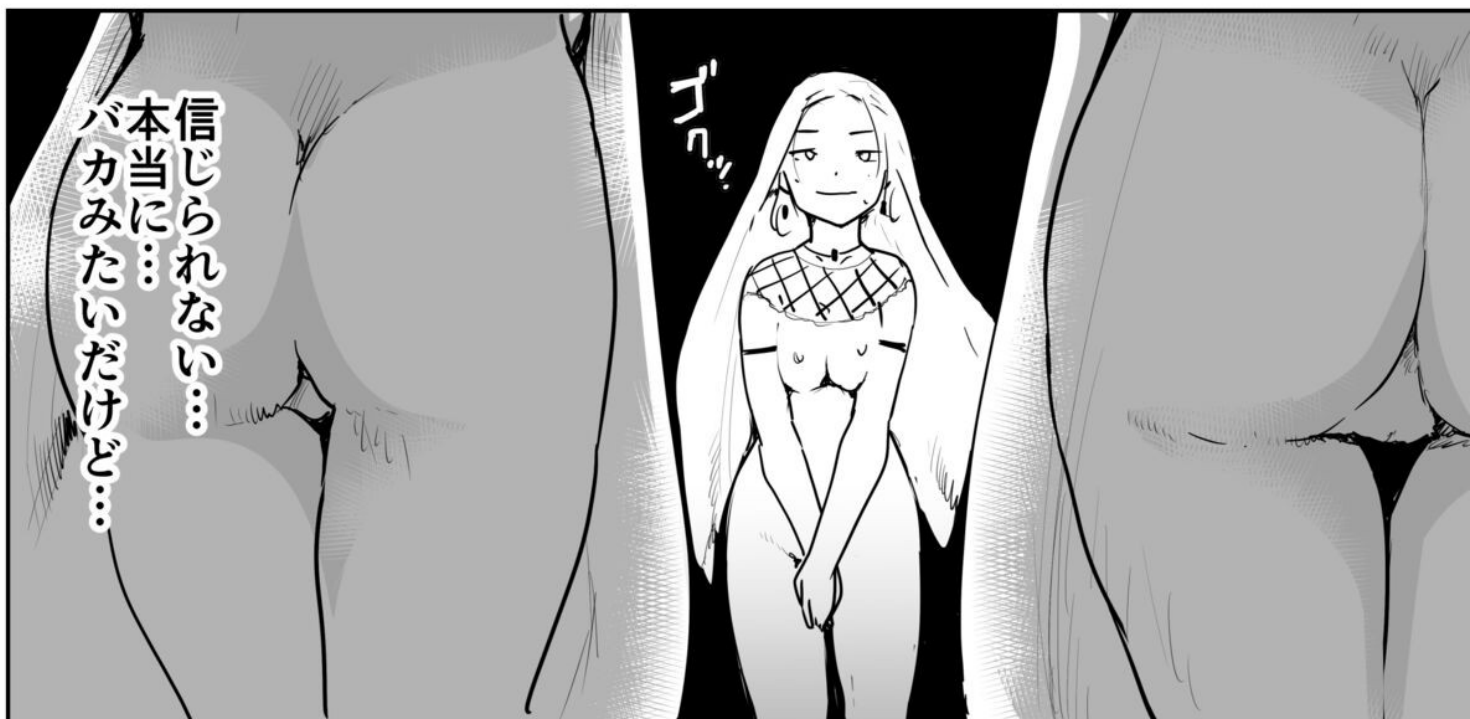


役立の人は
起立して
ください

我々は、劇を演じて
各クラスの理解を
深めていきます

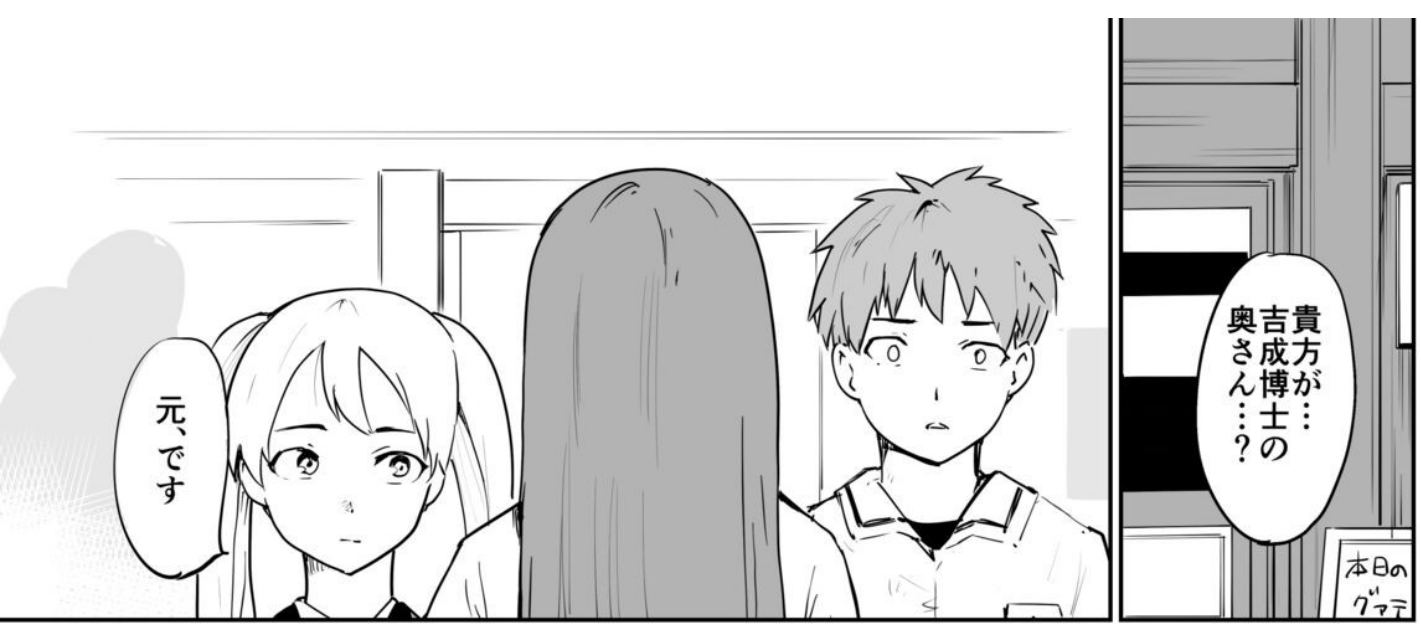


私が書いた
カルト教団の儀式



信じられない…
本当に…
バカみたいだけど…

アハハ



元、です

貴方が...
吉成博士の
奥さん...? ?

本日の
クマテ



...そして、
自分まで捨てて
しまった



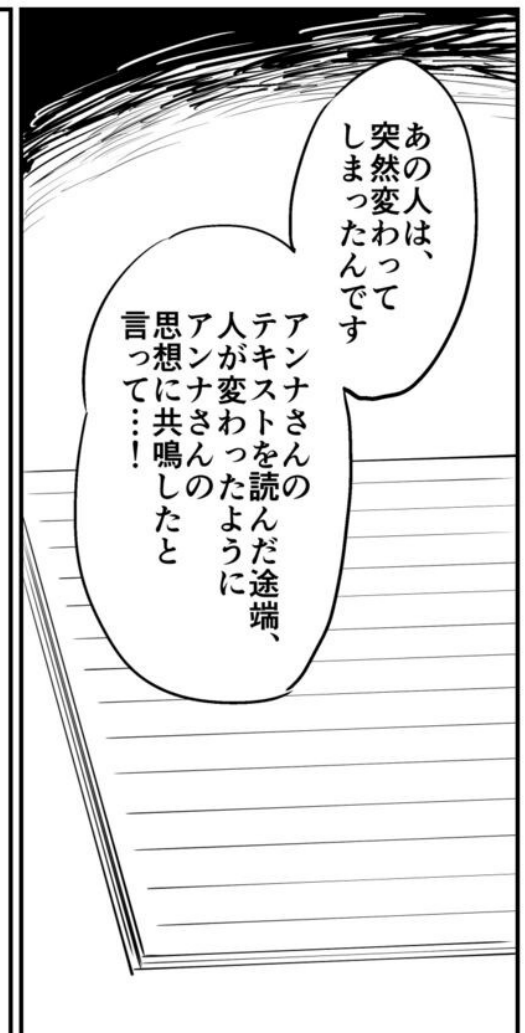
あの人は私のことを
捨てましたから



ブル...

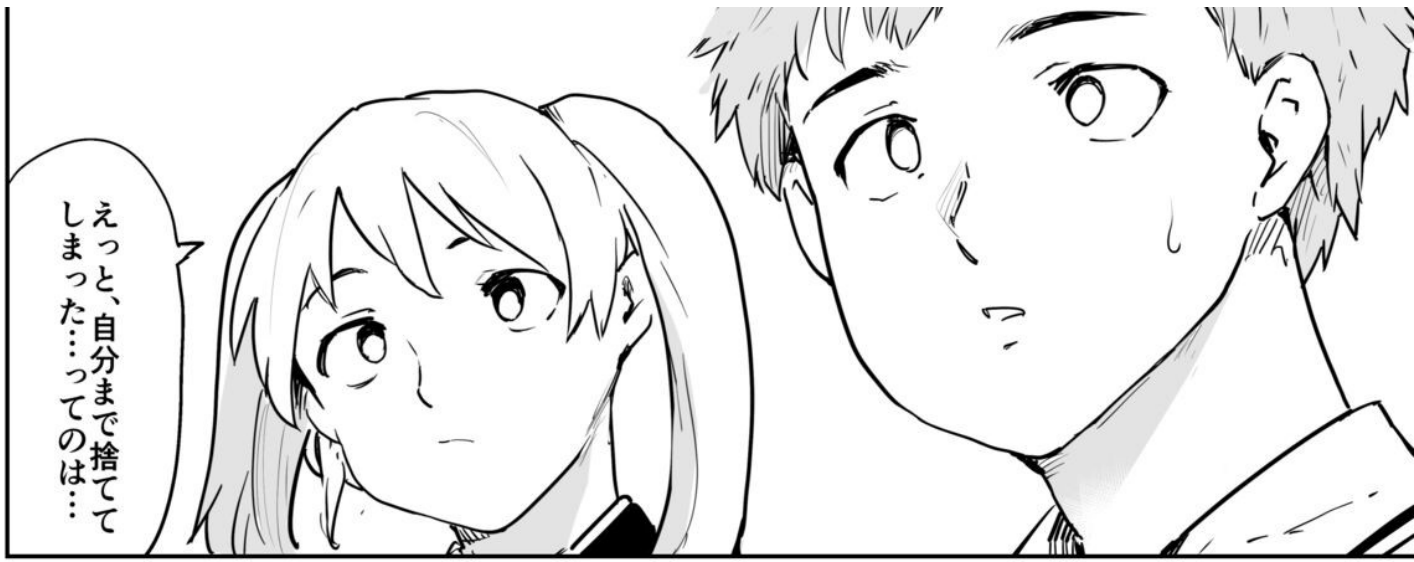
ブル

うう...!!
うう...!!
うう...!!

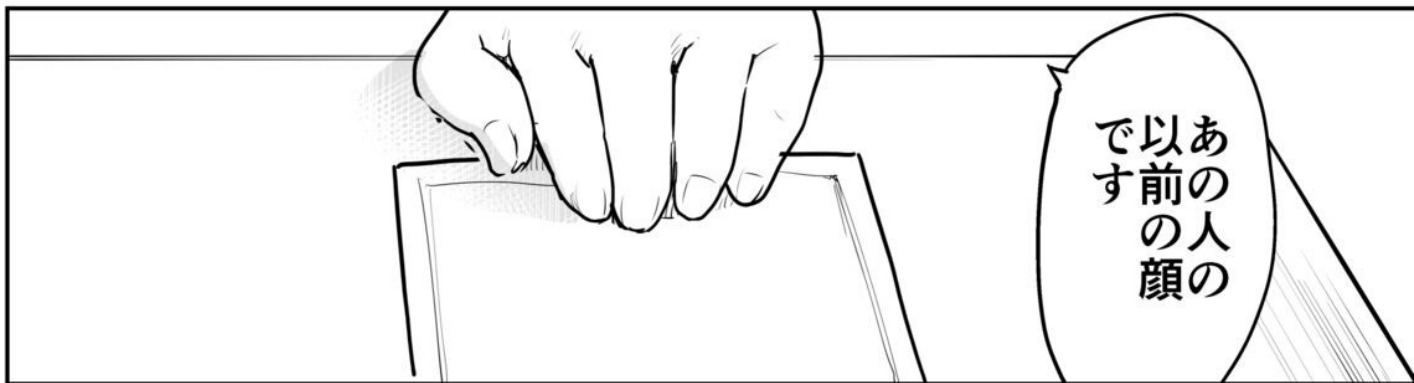


あの人は、
突然変わった
んです

アンナさんの
テキストを読んだ途端、
人が変わったように
アンナさんの
思想に共鳴したと
言って...!



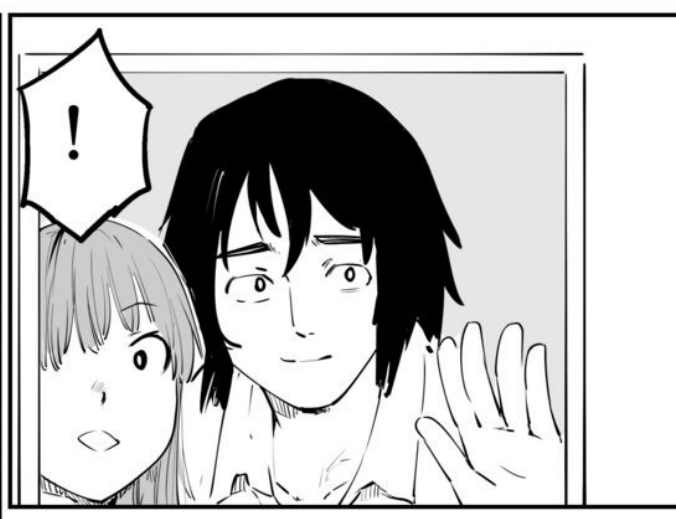
えっと、自分まで捨てて
しまった…ってのは…



あの人
の顔
で
以前
の
す

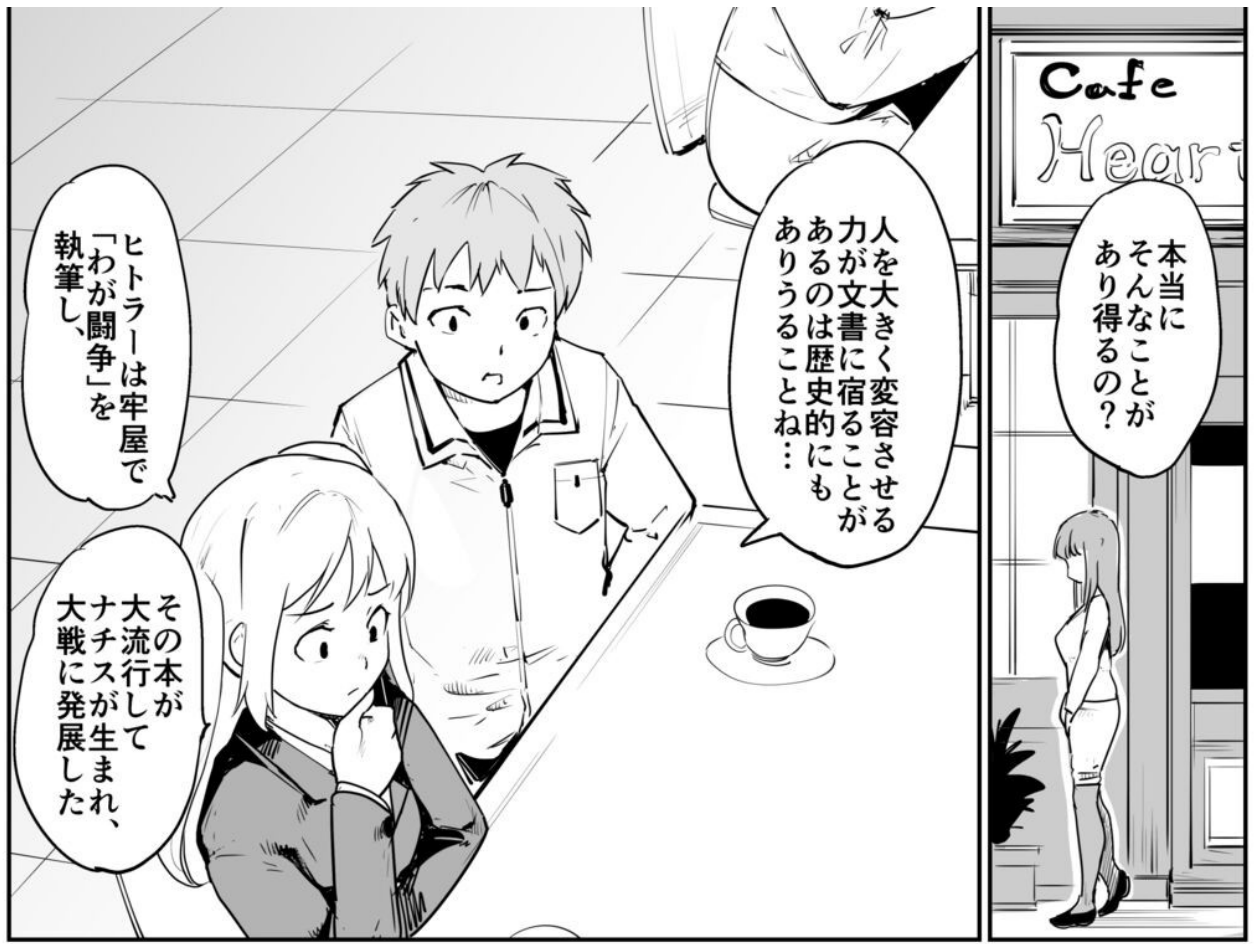


そして、実際に結社を
作って人を集め始めた…



アンナさんの書いた、
吉成健康になりきる
ために、姿まで変えて
しまったんです





本当に
そんなことが
あり得るの？

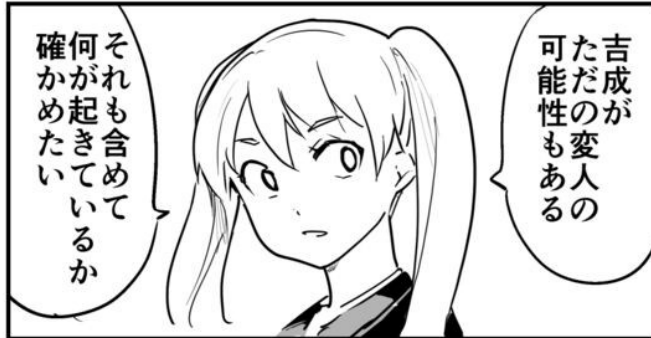
人を大きく変容させる
力が文書に宿ることが
あるのは歴史的にも
ありうることね…

ヒトラーは牢屋で
「わが闘争」を
執筆し、

その本が
大流行して
ナチスが生まれ、
大戦に発展した



いくらなんでも
スケールが
でかすぎる、
彼女は素人だろ？



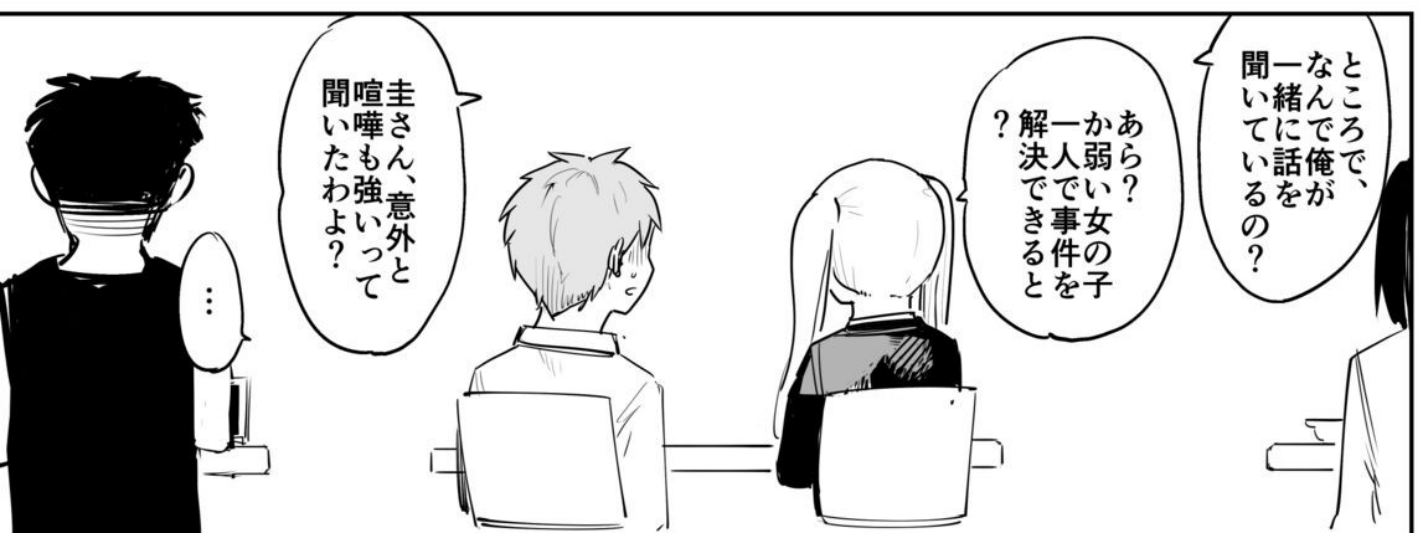
吉成が
ただの変人の
可能性もある

それも含めて
何が起きているか
確かめたい



マルクスは
図書館に通って
資本論を書いたわ

世界を変容させた
影響力は今でも
強く残っている



ところで、
なんで俺が
一緒に話を
聞いているの？

あら？
か弱い女の子
一人ですべて
解決できると

圭さん、意外と
喧嘩も強いって
聞いたわよ？

…

隊商の男が一人の奴隷の娘を不憫に思い、水をあげることにしました

差し出された水を、奴隷の娘は喜んで受け入れます

ん…んっ

娘は飢え、乾いていたので、食べるように潤しました

さあさあさあ…

ふうっ、ふうっ…

おちんちん…
ちん…



あむっ……んっ……

んっ……んんんんんんんん
うううう!!!

くちゅん
ちゅん

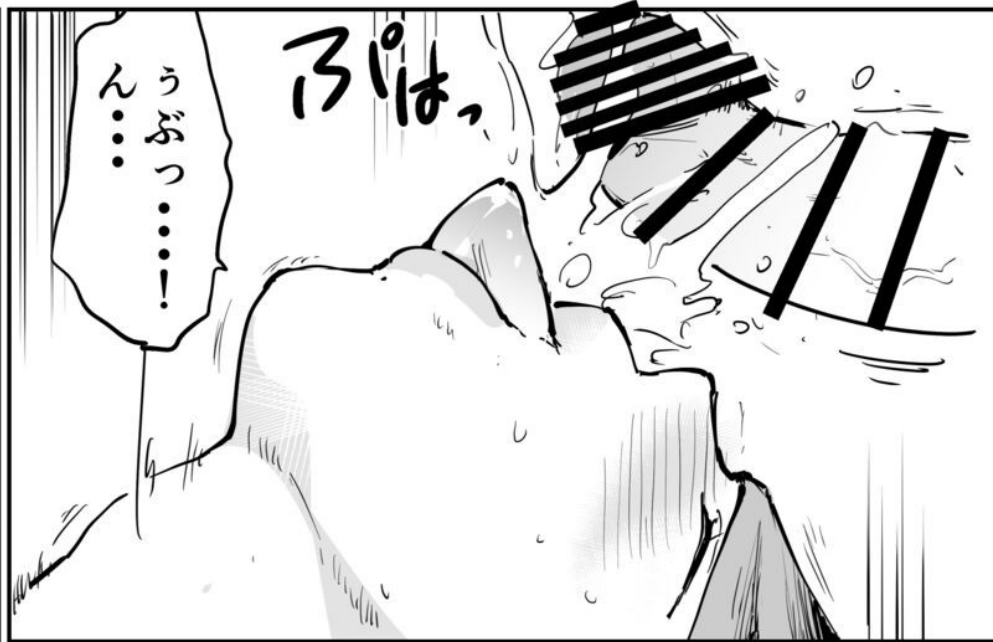
んふう……んっ!!!
んふう……んっ!!!

飲み干した後の
彼女の笑顔は
歓喜で満ちて
いました

吉成博士の
アレ、大きいわね……



リアルで
見ると
生々しい……



うぶっ……ん……

んはっ





正確には、
私が立ち上げた
会社です



そうですね…
私のことを全く話さない
のは、確かに信頼関係を
築く上で不十分だ…

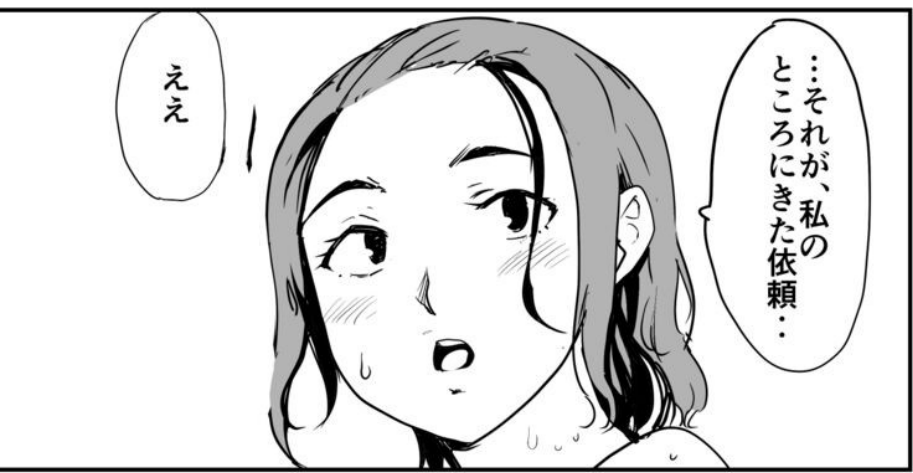
私がまだ
大学院の院生だった頃、
あるWEB事業会社で
仕事をしていました



ある日、その工作に
リアリティを
持たせようという
話があがってきた

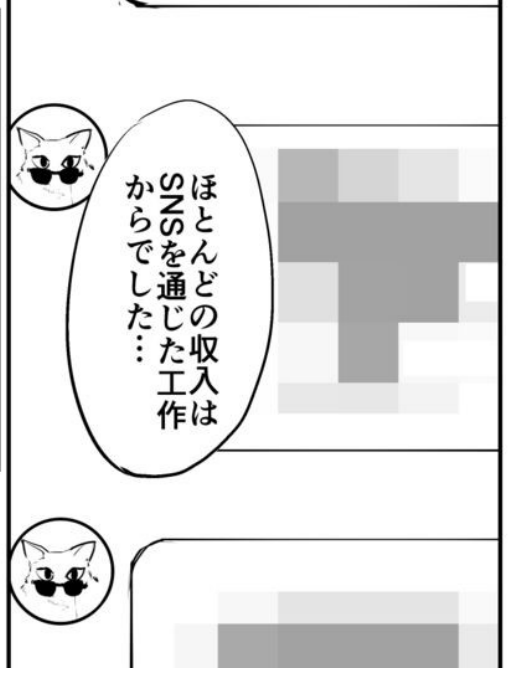


表向きはWEBサイトの
構築・運営・保守…、
しかしそれらは
会社の収入の
一部に過ぎず…

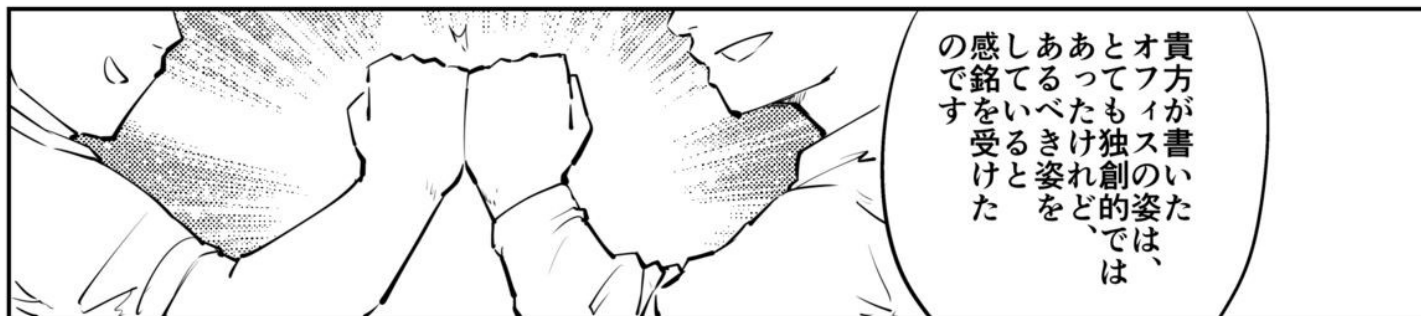


…それが、私の
ところにきた依頼…

ええ



ほとんどの収入は
SNSを通じた工作
からでした…



貴方が書いたオフィスの姿は、とても独創的では、あったけれど、あるべき姿をしていて、感銘を受けたのです

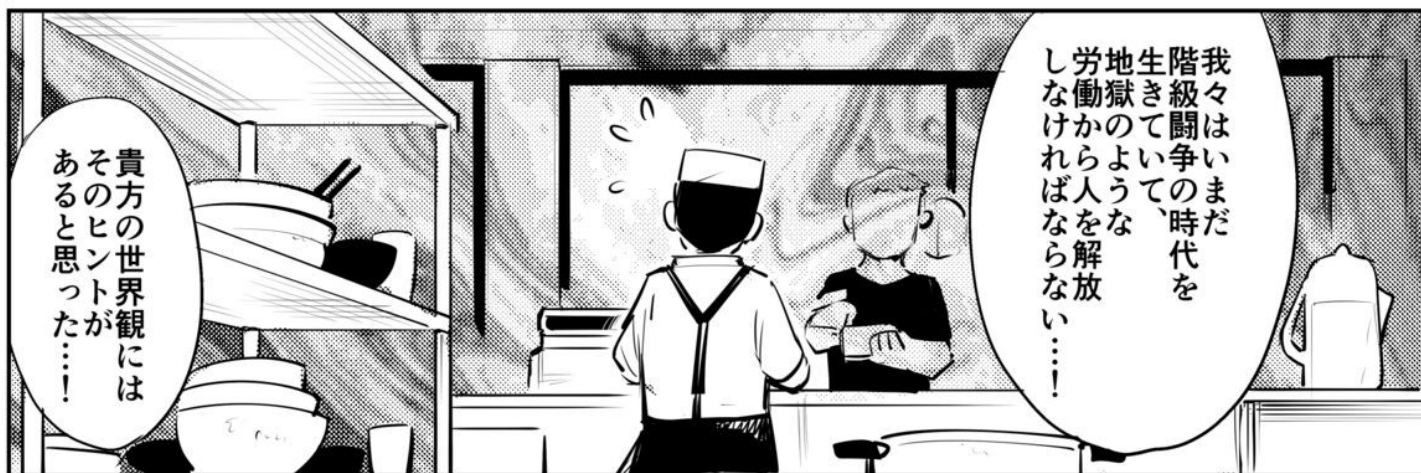


現代社会を生きる我々の課題は、常に！『職場』なのです！



…そんなに変わってたかしら…

ちやぶっ



我々はいまだ階級闘争の時代を生きていて、地獄のような労働から人を解放しなければならない…！

貴方の世界観にはそのヒントがある…！



でも…
その…Hなのは…
なにか、関係あるのかしら？



この結社に集まる人達はみな、地獄のような職場から解放されたい人たちです

なるほど…



私の解釈はこうです...
人は太古の時代から夫婦の慣習もなく、自由に付き合ったり、子作りをしていた

ああ、この人はとても真面目な人なのね...それに、いい人だ...



そ、そうね…
私自身意識して
なかったけど、
そういうのが
良いかな、とは
思ってたわ…

結婚制度を
なくすことも、
コミュニティの
改革に最終的に
必要なのだと…

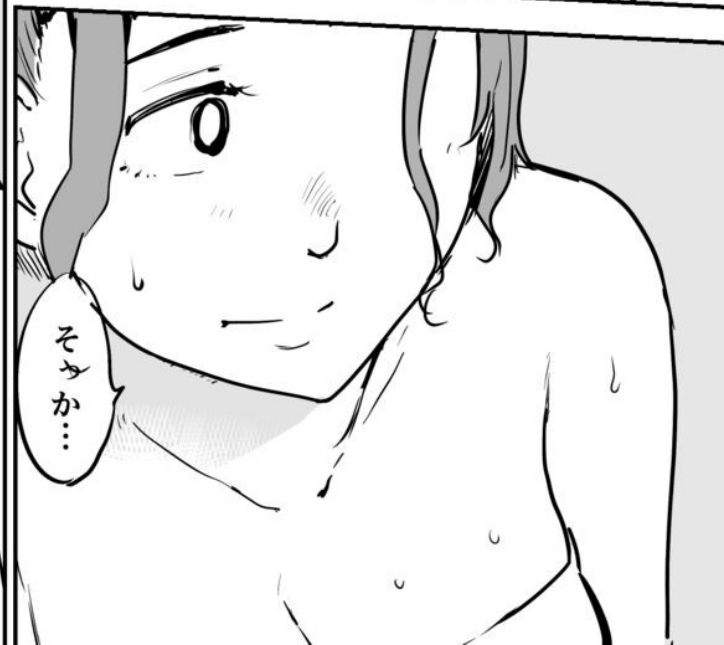


ね、よかったら…、
私としてみない？



離婚
しました、
このために

あ、えと…、
吉成さんは…
奥さんは？



そ、
ま、
か…

さっき見てたこれ…
すごく固い…
中で暴れたら…
どうなっちゃう
んだろう…

んあんっ、
んあんっ、
んあんっ、

ビク

はあ…、ふうん
…んっ…!!

指…そう!
入れて…中から
擦り上げて…
ああ…いいわあ
…そう、素敵

しゅん…

しゅん…

しゅん…

しゅん…
しゅん…
しゅん…



緩やかに、
男はのちのち
押し込む

あん...あんなんう...!!

びんびん!!



男は娘を気遣うように
優しく出し入れます

あんなんう...!!
びんびん!!
びんびん!!
びんびん!!



.....



けして、乱暴に
することなく



吸って、強く
...そう!

感じ、
ちゃう...

うふふ...
やっぱり...
立派ねり

貴方も
わたしのを
見て勃起して
きちゃった
のね...



ねえ、見て、
わたしのココ...
ひくつくいて
いる
でしょう？

あなた...の裸...を見てる
だけ...で...こんな...に...
しまった...の

んっ

ねえはやく...
キモチ良い
ことしまし
よう？





すごい肉付き...
遅い人のこと
好きになっちゃいそう



ああんっ
中で固くなって
震えてるっ
イクのねっ
イキそうなのねっ

すっ
びびっ



出ますっ
もうっ
出ますっ

ムッ

ムッ

ムッ

中にいっよっ
ビュッビュッ
出してっ

ムッ

ムッ

んん
んん
ツん
!!ん

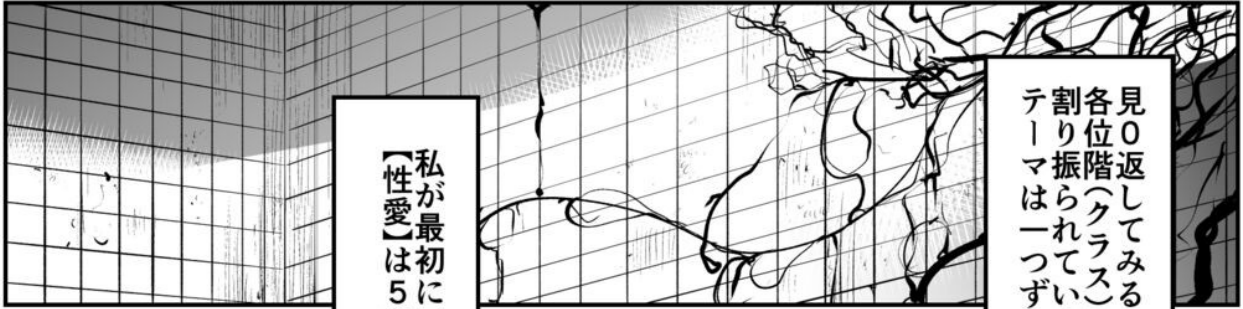
ムッ

出っばい
のねい

嬉しい...

ああっ

フあっ...

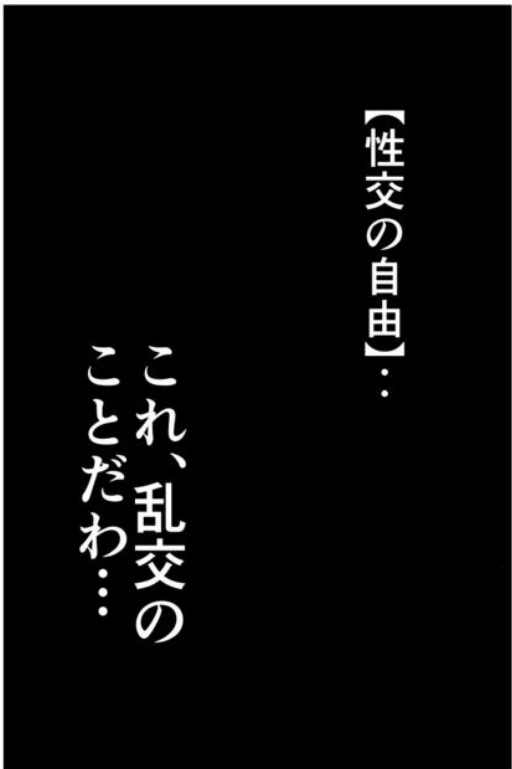


私が最初に見た
【性交】は5段階目で…

見0返してみると…
各位階(クラス)に
割り振られている
テーマは一つずつ

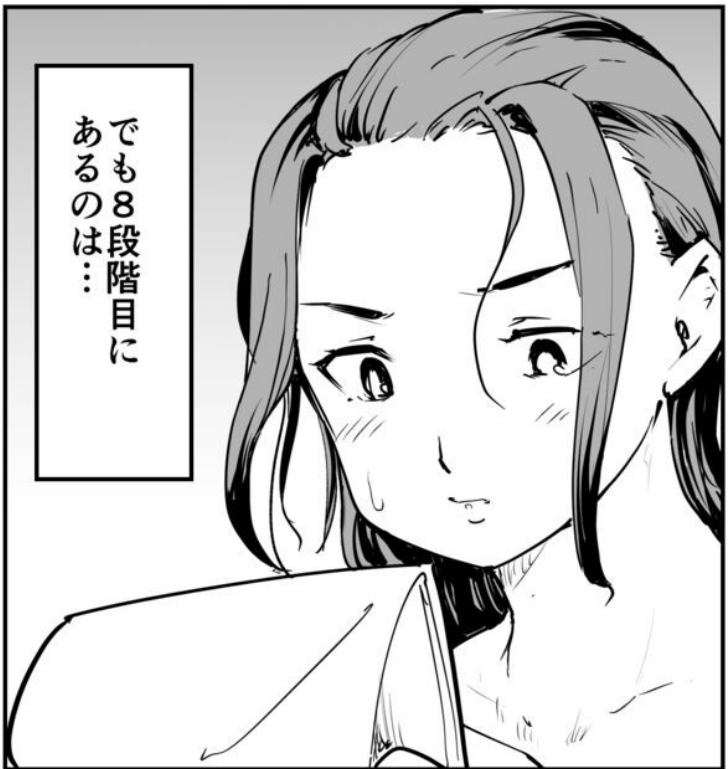


ほかは
至っては普通ね…

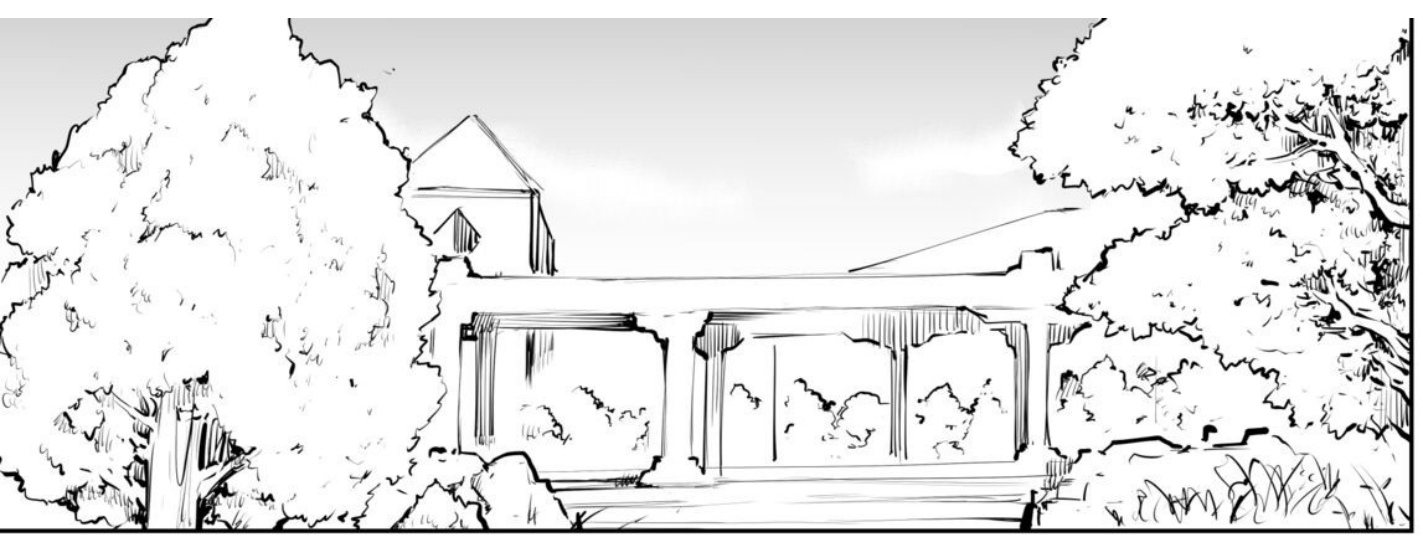


これ、乱交の
ことだわ…

【性交の自由】…



でも8段階目に
あるのは…



今なら：
私なら、
修正していいはず

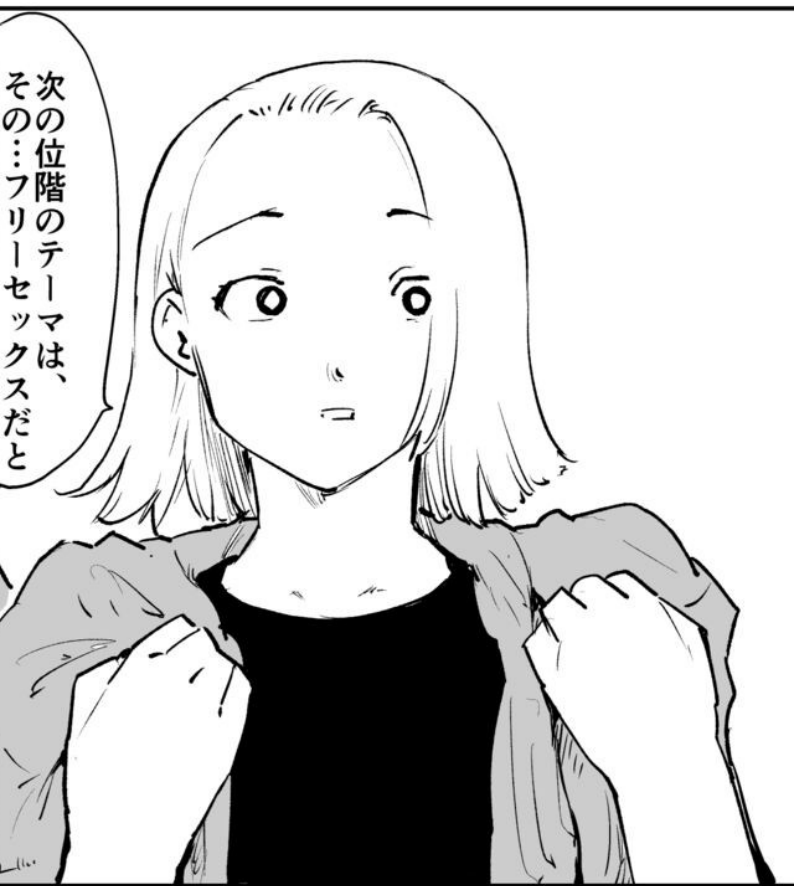


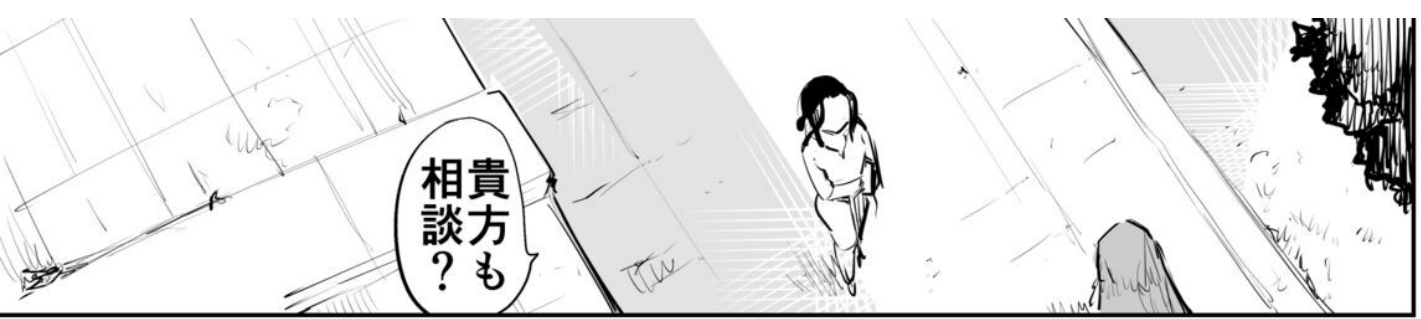
私を書いたのは、
怪しげなカルト教団の
乱交のイメー
ジそのままだ：



：あの人も
文句は言うまい：

ちよつと惜しい気が
するかな：



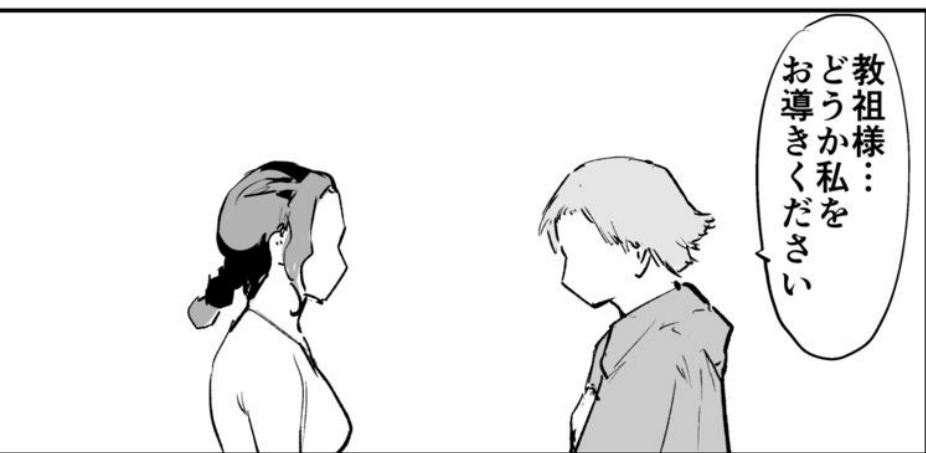


貴方も
相談?



私は元夫から
DVを受け、独り身
になりました

家庭や夫婦が
良好な形で
築かれるとは
限りません



教祖様：
どうか私を
お導きください



私にとって：
一人の男性に
縛られることは、

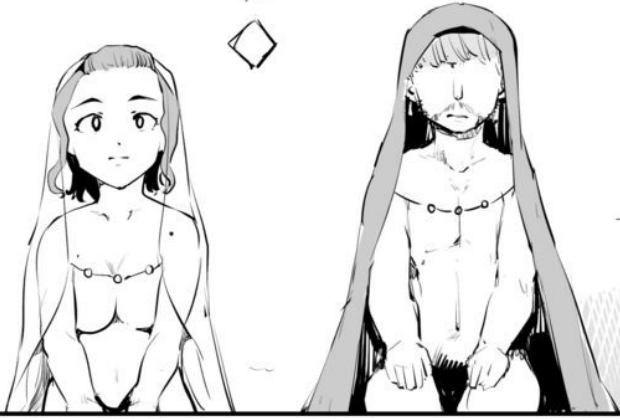
恐ろしいこと
しかありません



……

我々は、
本来の自然な姿を
取り戻すのです

本日の位階の
テーマは、
性交の自由



男女の自由な営みの
世界を……
それが良いもので
あることを知ります









あんっ
...あんっ!

んんっ

はっ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ぬるん...

これも、
好きっかも...

ちゅ

ああん...
この人の...
固くていいところに
当たる...

ああっ

あんっ... あんっ...!!

あんっ...



びびり...

あはあああ
あはあああ
あはあああ
あはあああ

イッてるからっ...!
これ以上は...
またイッちゃう...
っっ...!!!!

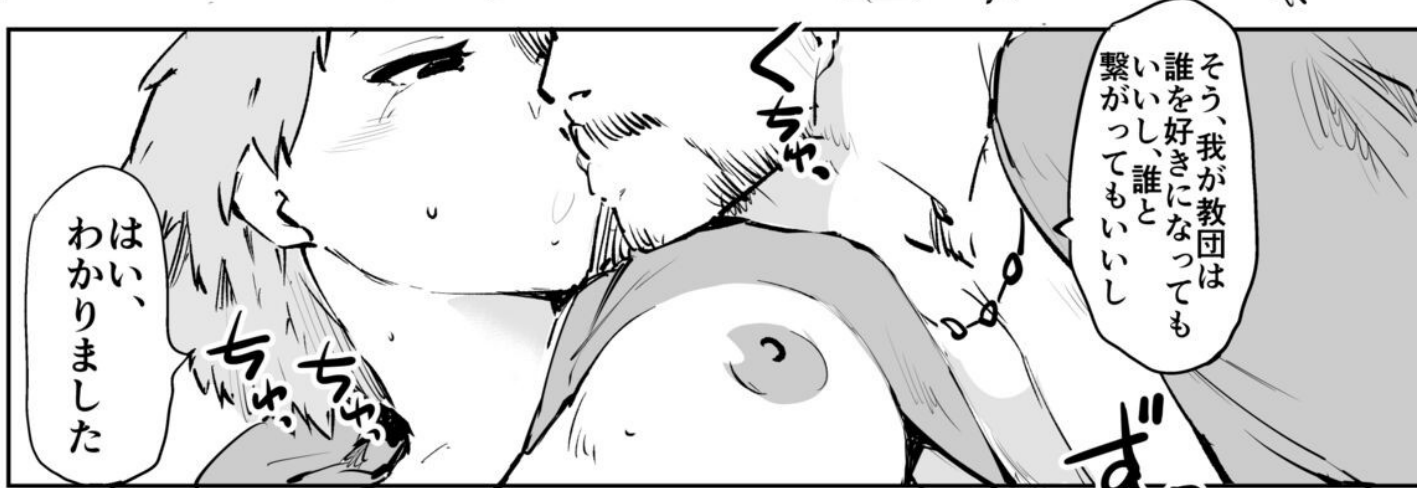
ビュッ

ビュッ

あーッ

...コト

っ





くたっ..

はあ..

はあ..

ん..

フフ、
ステキだった
わよ



さあ、
続きを

ちゅっ

ああんっ、
だめっまたっ

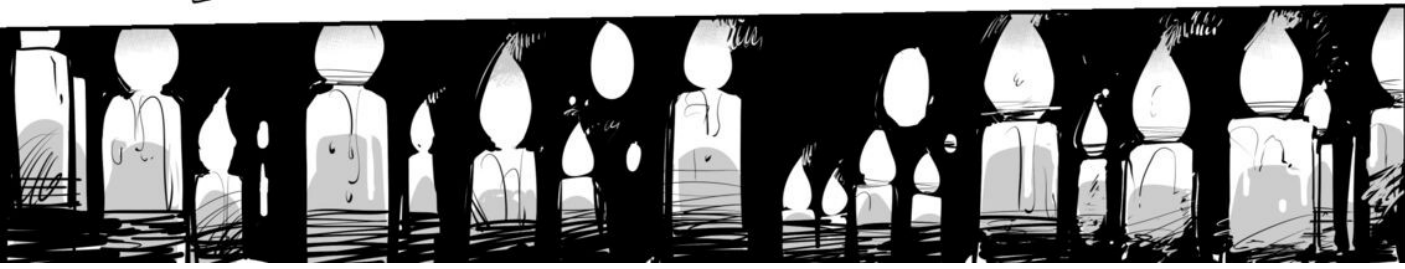
くに

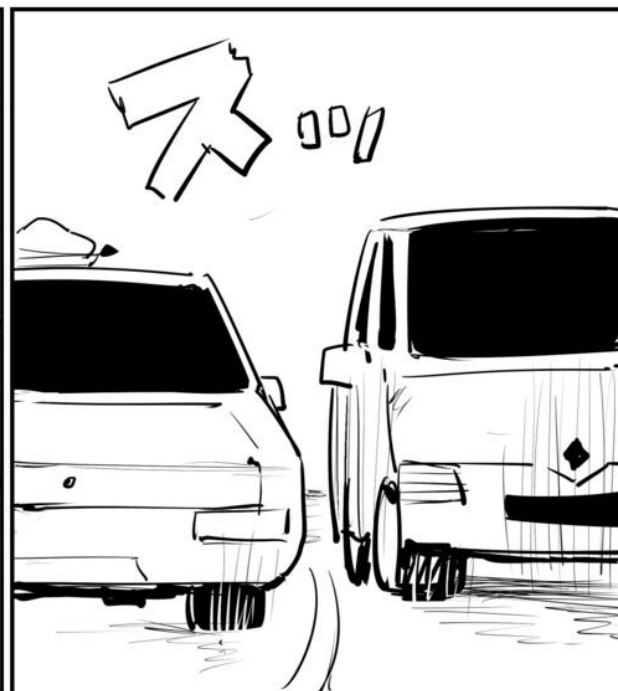
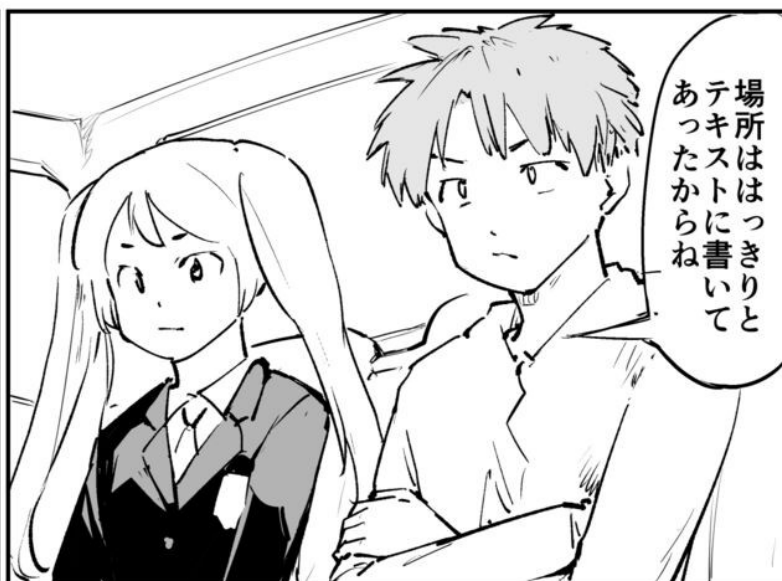
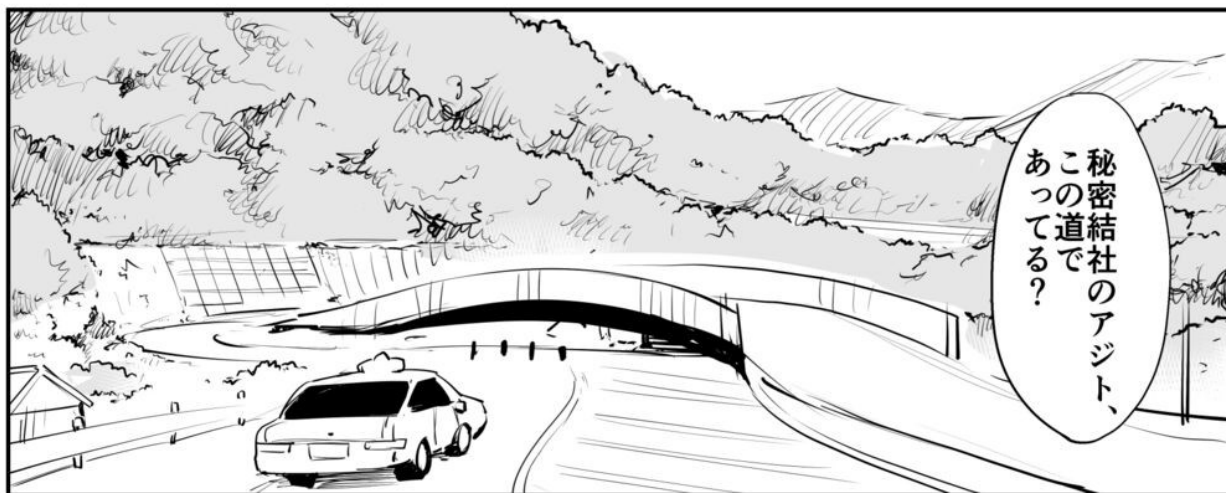
ああ、とても
熱く火照って
ほぐれている

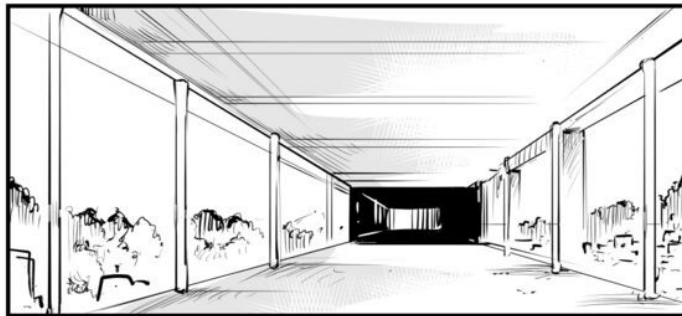
ぐちゅっ
ちゅっ

敏感に
なってるからあ、
ああっ気持ちいいっ

はあっ..
ああっ

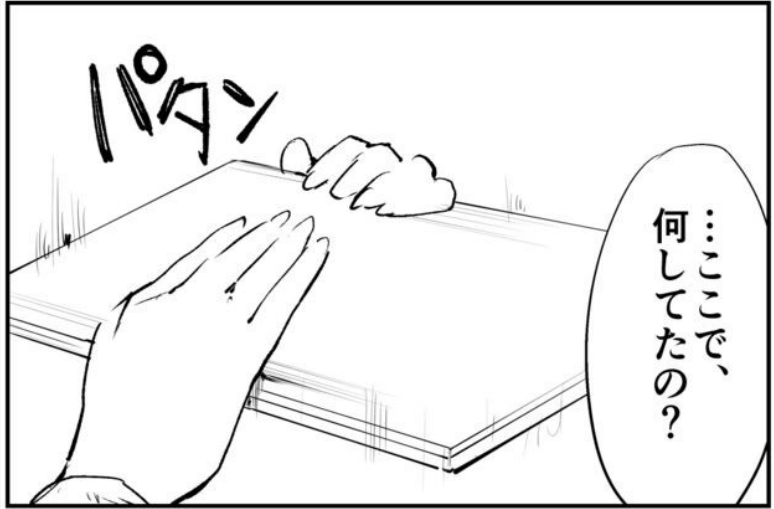








物語を
書いていたの



…ここで、
何してたの？



…楽しかった

とてもいい気分、
捗ったわ